



# かみのせき 議会だより

2025  
7/24

No.171



この絵 いいね 👍 (公民館まつり)

令和7年6月定例会

上関町議会のページ ▶



議案	2ページ
産業厚生常任委員会	3ページ
総務文教常任委員会	4ページ
一般質問	5～8ページ
議会活動報告	9ページ
陳情・編集後記 他	10ページ

## 議案

6月定例会は6月3日から11日までの9日間、開催されました。

令和6年度一般会計予算は1億4991万1000円を減額し総額36億7945万1000円となりました。

特別会計については、いずれも事業清算及び実績に伴うもので総額15億6782万3000円となりました。

令和7年度一般会計補正予算は1843万2000円を追加

して総額34億443万2000円となりました。

## 主な内容

住民税に関する改正は年収の壁、103万円が20万円引き上げられ給与収入で、123万円の場合でも各種扶養控除を受けることが可能となりました。19歳以上23歳未満の子などについては、123万円を超えた場合も一定の控除を受けられる新たな特定親族特別控除が創設され収入要件の引き上げが行われました。



福祉センター跡地

二輪車の50cc（原付）以下は新たな排ガス規制が11月から開始されますが、規制をクリアすることが困難なため、それに伴い、新たに125cc以下の二輪車の最高出力を原付並みに制御して生産することとなり原付と同じ税額とする改正。

国民健康保険税が医療費分の限度額が65万円から66万円に後期高齢者分が24万円から26万円に引き上げられ、高所得者の方にとっては年間3万円の負担増で国民健康保険税の最高限度額は109万円となりました。

また、医療費分の所得割率を8.5%から7%に引き下げと軽減されます。5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定に用いる所得の引き上げが行われました。



住民課 窓口

# 産業厚生常任委員会

## 厚生関係

### 海のまち診療所の収入が減

問 令和6年度の海のまち診療所収入の補正が20%減となっているが、要因は。

答 令和5年度と6年度を比べると診療日数は変わらないが、診療時間が減ったことが影響していると考え。特に後期高齢者医療診療の減が大きい。

### 新診療所建設、今後の取り組みは

問 取りやめになった旧中央公民館跡地での新しい診療所の建設だが、今後の取り組みは。

答 ボーリング調査の結果、パイル（杭）を打ち込んで地盤強化をしなくてはならないという調査結果が出た。そうすると一般財源から5000万円以上の繰り出しが必要になるが、そうすると財政破綻へ一気に押し進むという財政部局からの指摘があった。財源の確保、打ち込み工事による近隣住宅への影響、この2つの点からいったん立ち止まって、延期という形をとっている。とはいえいつまでも中国電力の建物を借りるわけにもいかない。この2点をクリアできれば、また議会にお諮りしたい。

## 産業関係

### 上関海峡温泉、来年度に大規模改修へ

問 上関海峡温泉の設計業務委託料の内容は。

答 4月中旬に木の浴槽の下の地下室の天井からの漏水が目立つようになった。業者が調査したところ、タイルの浮きなども多々あり、塩分が多い泉質のため経年劣化が著しく進み、防水層と配管の間隙から漏水している状態ではないか、とのことだった。現在漏水は処理しているが、これ以上増えると建物本体の劣化が進む心配があり、急遽、工事の調査設計をする必要が出てきたため。

問 大規模な工事になるのか。

答 大規模な改修になると思う。場合によれば1か月程度休業して改修工事を行うことになると思う。工事は来年度の予定。

問 今回の改修は計画的なものか、突発的なものか。

答 突発的なもの。

### 町営バス、2路線に

問 町営バスの路線変更について、要因は。

答 現在3路線あるが、長時間停車している便もあり利用者にとって不便であること、利用者数が減少傾向にあることから再編する。

問 経費は削減されるのか。

答 削減される。経費のことも考えながら住民サービスも低下させないという中で、2路線で十分かということについて交通体系の会議を何度も繰り返してきている。そういった会議の承認を得て議会に提案し、10月1日には実施したい。9月議会には時間帯等をお示しできると思う。



町 営 バ ス

### 道の駅、リニューアルの内容は

問 道の駅はどのようにリニューアルされるのか。

答 スペース的なことと言えば、入って右奥のコーナーにヤマザキショップの品を販売する。町内に日用品などを購入できるところが少ないという苦情もあり、この取り組みは道の駅にも住民にもプラスになる。また農産物や鮮魚はレジの近くに配置し、情報コーナー付近のカウンターは低くして利用しやすいようにする。

問 リニューアルの目的は収益改善のためとあるが、買い物難民対策が収益改善につながるのか。

答 当然収益のことも考えて取り組まなければならないが、住民の利便性をあげるということも大事なこと。利便性を向上しながら収益も改善させていくという考え。

# 総務文教常任委員会

## 総務関係

### 防災備品用品の内容は

- 問** 防災備品用品とは、具体的にどういったものか。また、どこに備蓄しておくのか。
- 答** 折り畳み式のワンタッチベッド、テント式のパーティション、自動ラップ型トイレ（モバイルバッテリーで稼働する、排泄物をラッピングして臭いを出さないようにする災害用トイレ）、給水タンクを考えている。場所は、長島、室津、八島、祝島に配備を考えている。

### 人権施策推進審議会を設置

- 問** 上関町人権施策推進審議会が新たに設置されるが、どういったものか。
- 答** 山口県の人権推進指針が改定されたことにより、今までは人権施策推進協議会だったものを条例改正し、審議会とするもの。

## 文教関係

### タブレット購入の負担は

- 問** 高校でのタブレット購入が保護者負担となるのか。また、3月議会でバス通学等に関して質問したが、その後の進展は。
- 答** タブレットについては、各県によって対応が違っていると聞いている。山口県の場合は自己負担が発生するが、これ以上負担が増えないよう県にお願いしている。通学についても同様に県にお願いをしており、検討中。

### 部活動地域移行の現状は

- 問** 中学校の部活動地域移行についてどのような現状か。
- 答** 町ではもともとソフトテニス部のみだったが、令和7年5月より総合文化部の活動を開始。ソフトテニス部では、昨年度3月より地域展開が始まり、休日の通常の練習において地域ボランティアの協力により運営されている。平日についても、地域のボランティアと教職員による指導がなされ、教職員の負担軽減は着実に進められているという状況。総合文化部については町立図書館の館長指導の下、完全な地域クラ

ブとして活動。

### 硬式野球の練習は

- 問** ソフトテニスグラウンドで練習する際、硬式野球の練習をしていると、テニス場に野球ボールが飛んで怪我をしないか。設備面で工夫される予定があるか。
- 答** テニスと野球の使用時間が被る場合、野球をする団体にバッティング練習をしないようお願いをしているため、設備面は現時点では考えていない。

### 祝島小学校の校舎の用意は

- 問** 来年度、祝島小学校が飛び複式の3学年になるが、校舎の用意はどうなっているのか。また、世帯数が増えるに伴い、学校給食についてどのように考えているか。
- 答** 校舎は、医師住宅の仮使用を検討。決定次第、改めて住民説明を行う。給食に関しては祝島小学校では難しい。検討中。

### タブレットの活用

- 問** 中学校でAIやICTを使ってどのような授業を行っているか。
- 答** 先生と生徒が双方向でやり取りをし、授業の支援をするアシスタントツールや、タブレットのドリルを導入。また、タブレットを使い、第2言語で外国語を学んでいる海外の生徒とのやり取りを年2回行う授業をスタートしている。さらに、生成AIを使って試験的にどのような効果があるのかを中学校で検証している。



タブレットを使った授業

## 一般質問

### 中間貯蔵施設、今後の行方は

### 第6次総合計画公表

6月定例会  
6名の議員が8件の質問をしました。



山村 泰志 議員

**問**  
中間貯蔵施設関連について2点問う

**答**  
町民、議会の意向を踏まえて判断  
電源交付金の情報発信は重要

### 質問

3月議会で中間貯蔵施設導入の判断について、質問をした。これに対し、町長は、導入判断には議員間議論が必要との答弁をされたが、現状は原子力に関する議論は既に尽くされた状態だ。そのことを踏まえ、1点目。導入判断について、いつ議決を要するか再度問う。2点目。今

一度、町民へ原子力関連交付金に関する交付経緯や充当施設を周知する必要があると考えるが、町民への情報発信について町長の見解は。

### 町長答弁

1点目の質問について。最終的には議会の議決に従うべきと思っているが、現時点では、熟議なしに判断できないと認識。議会でも議論を尽くしていただき、町民、議会の意向を踏まえて判断する。2点目の質問について原電交付金に関する情報発信の強化は、町民の理解促進に繋がる。本町の情報発信は、広報紙やHPへの掲載、加えて公式LINEにも取り組んでおり、さらに多様で効果的な周知に取り組みたい。



海下 竜一郎 議員

**問**  
中間貯蔵施設にかかる調査結果を踏まえた今後の対応は

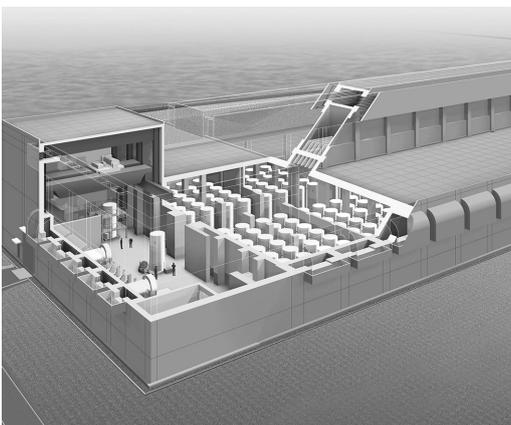
**答**  
必要に応じて議会への説明を行っていただきたい

### 質問

現在、中国電力が中間貯蔵施設に関する調査・検討を進めていて、ボーリング調査を踏まえた分析を行っている。この分析は、過去実施された同様のケースで、半年程度かかったと聞いていて、昨年11月に現地作業を終えていることを踏まえると、いずれ調査結果の報告があると思う。現時点で中国電力から進捗状況などの報告はないか、また今後、中国電力から調査結果が町に示された場合、町長はどのような対応をするのか。

### 町長答弁

中間貯蔵施設は、現在調査段階にあり適地かどうか具体的な報告は受けていない。中国電力には、慎重に分析・評価を行ってもらうと共に、町民への丁寧な情報提供、先進地の視察研修の実施、周辺市町への適時適切な情報提供なども継続して確実に対応していただきたいと考えている。中国電力から、調査結果が町に示された場合、調査結果を聞くと共に、必要に応じて議会への説明を行っていただきたいと考えている。



中間貯蔵施設イメージ図  
提供：リサイクル燃料貯蔵（株）



清水 康博 議員

### 問 中間貯蔵施設の現地視察について

答 現地ではなく中間貯蔵施設を見て賛否の判断を

### 質問

当町は、中間貯蔵施設への理解を深めてもらうという目的で、町民・職員を対象に茨城県東海村の同施設への視察研修を実施している。町長は常々、『自分の目で確かめて判断していただきたい』と発言されている。ならば、中国電力が建設を検討している場所も直接見て判断されるべき。かなりの山を切り崩さなければ建設できないことは現地を見れば容易に想像ができる。町長自身、また町民・職員の現地への視察を検討されるか。

### 町長答弁

現在、中国電力によるボーリング調査の現地作業を終え、データ解析を行っている段階で、調査結果が出ていない状況。現地視察に「行く・行かない」の議論をする段階ではない。それよりも中間貯蔵施設がどのような施設なのかを実際に見ていただくことが重要。今後も東海第二発電所への視察事業を継続し、多くの住民の方に参加いただけるよう取り組む。住民の皆様には実際に施設を見たらうえて、賛否の判断をしていただきたい。



中間貯蔵施設の調査地



古泉 直紀 議員

### 問 町長の考える第6次総合計画の重要施策について

答 持続可能なまちづくりを目指す

### 質問

4月中旬に町の最上位計画であり、今後の10年における取り組みの内容を示す「第6次総合計画」が公表された。町はHPに同計画の全体版と概要版を掲載するとともに、概要版は、各戸配布を行い、町民に周知した。しかしながら計画の施策は数多くあり、町民は、町が今後、どういった施策に力を入れて取り組んでいくのか分からないのではないかと。何を優先課題と考え、どういった施策を重要施策として取り組んでいくのか。

### 町長答弁

結論から申し上げますと、第6次総合計画の「施策の重点方向」および「基本目標」に記載されている事項が優先して取り組むべき課題であり、重要施策となる。基本的には、町民の皆様が「住んでよかった」と実感でき、「これからも住み続けたい」と思えるような持続可能な魅力あるまちづくりを目指したいと考えている。そのためにも、皆様とともに知恵を出し合いながら、計画の実現に向けて取り組んでいく。



「第6次総合計画」全体版・概要版



山戸 孝 議員

**問** 中間貯蔵施設計画、周辺自治体の反対の民意は考慮するのか

**答** 上関町議会の判断に従うべき

**質問**

①国の原子力政策の現状及び上関町を取り巻く状況を財源論を抜きにしてみた時、町長はこの計画に現実味を感じるのか。②周辺自治体から反対の民意が示された場合、判断基準として考慮するのか。また周辺自治体の理解を得る必要があると考えるか。③議論を尽くすために、町が住民アンケートを行い住民の中間貯蔵施設への是非や考えなどを把握してはどうか。④議論に1年はかけるとのことだが、町長の考える「議論スタートのタイミング」は適地の是非が出た時か。

**町長答弁**

①地域振興策としての中間貯蔵施設。財源論抜きという話にはならない。②判断基準としては上関町における議会制民主主義のルールである議会の判断に従うべき。周辺自治体への理解活動は国・県・事業者が行うもの。特に国が前面に立つべき。③住民投票やアンケートは町民の分断を生むため考えていない。議員の皆様は民意を収集してもらいたい。④1年というのは目安。適地であるとの判断が示されたら、議員として議論をしてもらいたい。

**問** 買い物支援、町の考えは

**答** 官民一体で買い物機会の創出を進める

**質問**

高齢者を中心とした買い物弱者への支援の方法としては、移動販売や宅配などで住民へ「届ける」やり方と、販売場所と交通環境の整備によって住民に「来てもらう」やり方がある。その支援についても行政が直接行うのか、民の取り組みを行政がサポートしていくのかによっ

**町長答弁**

て、町がやるべきことも変わってくる。それぞれの重点をどちらにおくべきだと考えるか。買い物の問題は定住促進や子育て支援の面からも大きな課題。町の考えは。

高齢者に限らず全世帯の住民が「買い物不便」解消を望んでいる。現在はバス運賃助成などの支援を行っているが、この6月に道の駅において日用品などの販売を開始した。また今年10月からの町営バス2路線化と時刻表改正によって利便性が高まることを期待する。今後は地域おこし協力隊を活用した移動販売などの取り組みも視野に入れながら、「届ける」と「来てもらう」のどちらか一方ということではなく、民間のサービスも積極的に利用しながら官民一体で買い物機会の創出を進めていく。



町内を回る移動販売車



秋山 鈴明 議員

### 問 中間貯蔵施設計画に 町長が期待する理由

**答**  
中間貯蔵施設の交付金を有効活用し持続可能なまちづくりを

### 質問

町長は財源難と人口減少の解決策として中間貯蔵施設計画を期待しているようだが、これまでの原発財源があっても町の状況は良くなっていない以上、財源があれば町が良くなる、とは言えない。経産省によると原発立地自治体の人口減少率は全国平均より悪い。中間貯蔵施設による交付金は期間限定であり、その財源に依存することは持続可能ではない。それでも町長が中間貯蔵施設に期待するのであれば理由を論理的に教えてほしい。

### 町長答弁

町は財源不足という課題をかかえているが、財源さえあればいいのではない。私は財源を有効活用し、様々な施策やサービスを継続したい。電源立地地域の、人口減少率が全国平均を上回ることは承知しているが、各地域が抱える様々な要因がある」と国も認めている。中間貯蔵施設が半永久的に持続可能な町づくりに資するのではなく、中間貯蔵施設の交付金を町の財源のひとつとして有効活用し、持続可能なまちづくりを進めていく。

### 問 事前復興計画の策定 について

**答**  
「事前復興計画」の早期策定は困難

### 質問

南海トラフなど災害がいつ起きてもおかしくないなか、国交省は、事前復興計画の策定を推

### 町長答弁

奨している。事前復興計画とは、災害後公共施設やインフラなど町をどう再整備するか、災害前から住民と合意を図るものである。これは人口減を見据えて地域の未来を住民と共にどう作るかという地域づくりとして注目されている。町も人口減に合わせたまちづくりをする必要があるなか、事前復興計画策定は有効だと考えるが、町の考えは。

「事前復興計画」検討のためのガイドラインには「住民意見の反映」が盛り込まれており、

### ※ダウンサイジング

策定にあたっては町の現状や課題について、住民の皆様と協議することになる。議員が仰るとおりこの機会を活用し、住民合意を前提とした※ダウンサイジングを目指すことは有効的と認識しているが、職員不足などもあり、早期策定は困難。しかしながらダウンサイジングに向けた協議は、町の目指すものとして進めていくべきと認識。

文字通り「サイズを小さくすること」組織の規模を縮小すること。



災害後の集落をどう描くか

# 議会活動報告

(令和7年3月～6月11日)

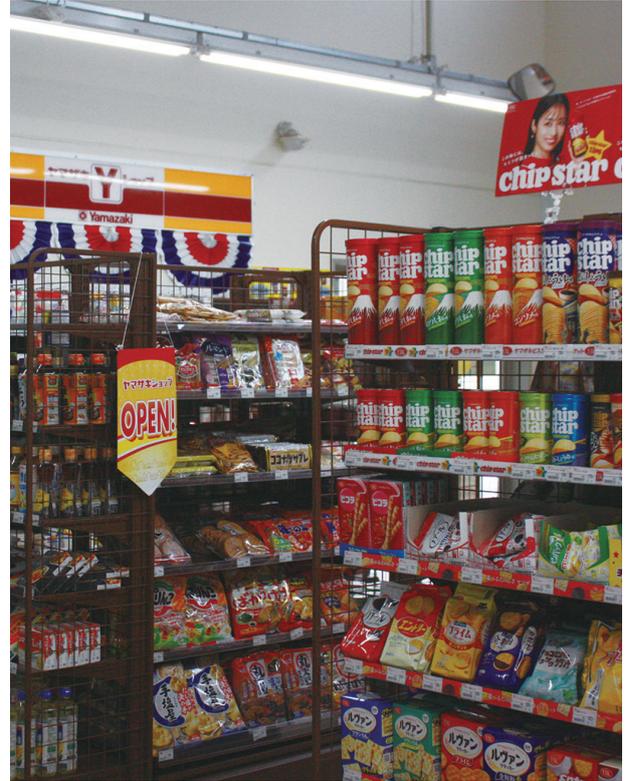
月日	内容(場所・出席者・参加者)
3月17日	議会広報委員会(山谷・海下・古泉・右田・山戸)
3月21日	議会広報委員会(山谷・海下・古泉・右田・山戸)
3月26日	月例出納検査(海下)
3月27日	議会広報委員会(山谷・海下・古泉・右田・山戸)
4月7日	議会広報委員会(山谷・海下・古泉・右田・山戸)
4月15日	議会広報委員会(山谷・海下・古泉・右田)
4月25日	議会広報委員会(山谷・海下)
//	月例出納検査(海下)
5月1日	熊毛郡町議会議長会定例会(田布施町・岩木)
5月12日	全国原子力発電所所在市町村協議会総会(東京都・岩木)
5月16日	柳井地区広域市町議会議長会定期総会(柳井市・岩木)
5月19日	東部高速交通体系整備促進協議会定期総会(柳井市・岩木)

月日	内容(場所・出席者・参加者)
5月26日	議会運営委員会(山村・右田・海下・古泉・山戸)
5月27日	全国町村議長・副議長研修会(東京都・岩木)
5月29日	月例出納検査(海下)
6月3日	第2回定例会本会議(全議員)
6月4日	全員協議会(全議員)
6月6日	産業厚生常任委員会(山戸・山村・秋山・海下・山谷)
//	総務文教常任委員会(右田・古泉・岩木・柏田・清水)
//	環境整備事業共同組合通常総会(岩木)
6月10日	第2回定例会本会議(全議員)
6月11日	第2回定例会本会議(全議員)
//	議会運営委員会(山村・右田・海下・古泉・山戸)

## 道の駅にヤマザキショップのコーナーができました



地元の皆さんの  
買物の手助けに



## 陳情

「公的部門ではたらく労働者の賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書

山口県労働組合総連合

石田 高士

山口県公務・公共業務労働組合共闘会議

江藤 俊



皆様方のご意見・想い・投稿などお待ちしております。

次回定例会の初日は  
9月9日(火)の予定です。

## 編集後記

第6次基本計画も無事に議会を通過しました。少子高齢化が進み60歳以下の人口よりも60歳以上の人口が約2倍になった町、子供の声も聞こえない地区が数ある現状の町、なんとか一人でも町民を増やすことを願うのは私だけではないと思います。町の指針でもある総合計画が予定通りに進み町民が安全・安心でバランスの取れた社会生活を願うばかりであるが、計画は年ごとに見直すなど、まちづくりの厳しさ難しさを改めて感じておりますが、希望を持って歩んで行きたいと思っております。梅雨がすぎれば猛暑の夏が待っています。皆様方におかれましては、お体に十二分に気をつけて酷暑の夏を乗り越えていただきたいと思います。お待ちしております。

議会調査	広報特別	広報委員	聴取委員
〃	〃	委員長	委員長
〃	〃	古泉 直紀	山下 良数
〃	〃	右田 千賀子	海下 竜一郎
〃	〃	山戸 孝	

発行責任者／議会議長 岩木和美  
〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 448  
TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-1600

編集／議会広報聴取調査特別委員会  
印刷所／中村印刷株式会社